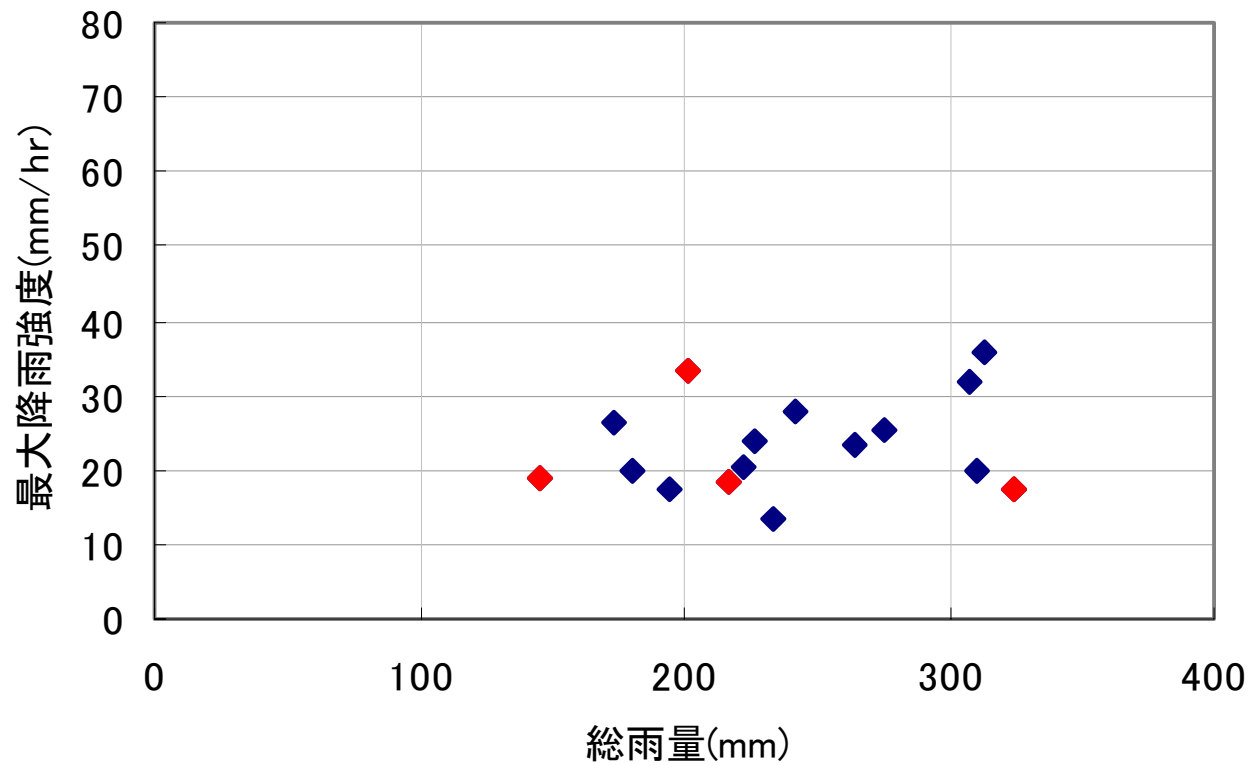


# 総雨量と最大降雨強度の関係

# 総雨量と最大降雨強度の関係

総雨量と最大降雨強度の関係

◆:前線を示す。



※総雨量:船戸流域平均総雨量、最大降雨強度:船戸流域最大時間雨量

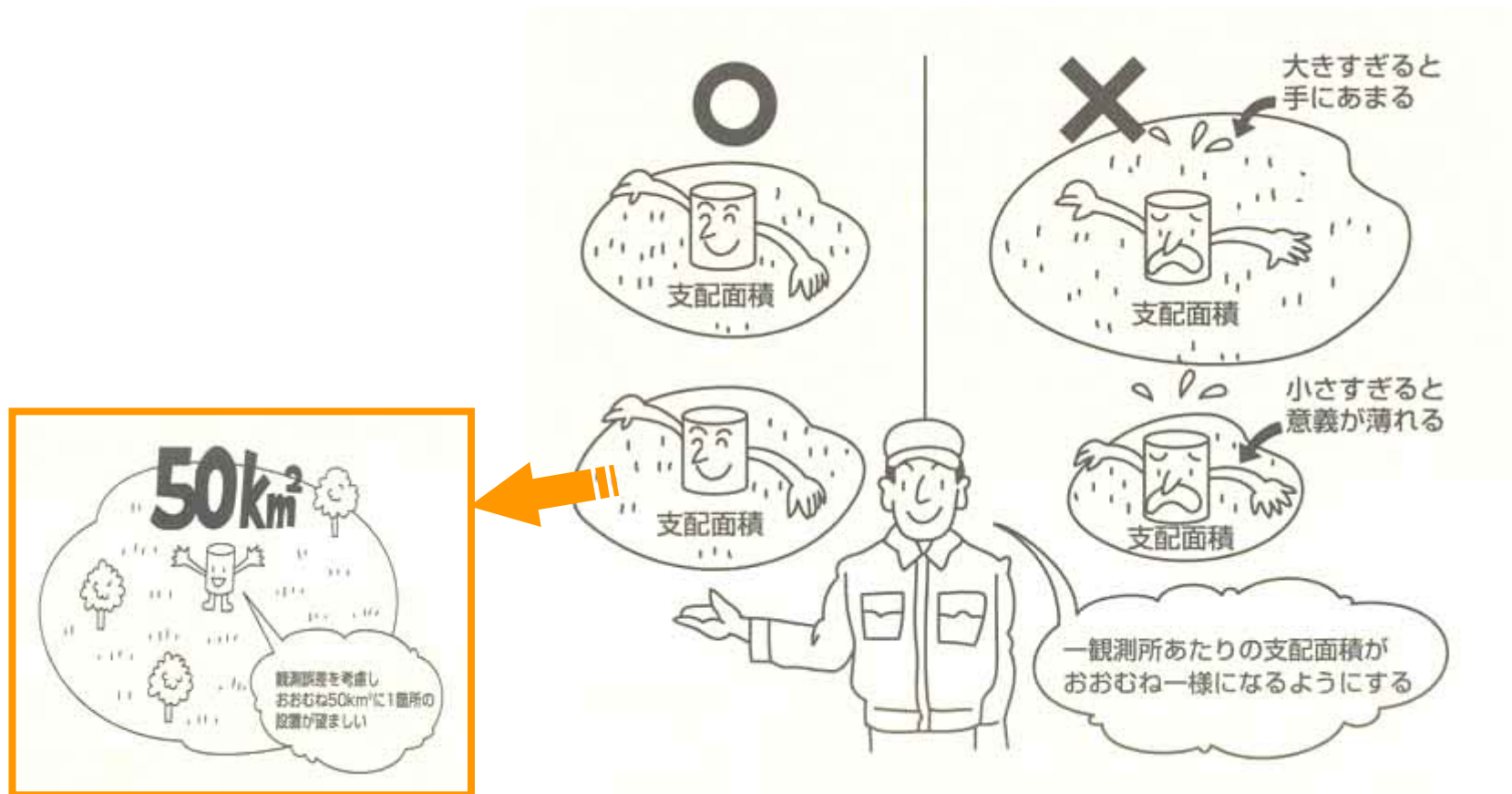
# 雨量観測について

# ①雨量観測とは

空から降ってくる雨・雪・あられ・ひょうなど、全て水になるものを総称して降水といいます。降水は雨と雪に大別されます。雨量はある時間内に地表に降った雨の高さをいい、「何時～何時までに何mm降った」というように時間と量で表現します。降った雨が動かず地表表面上にとどまっていると仮定した場合の厚み(水深を測る)ということになります。

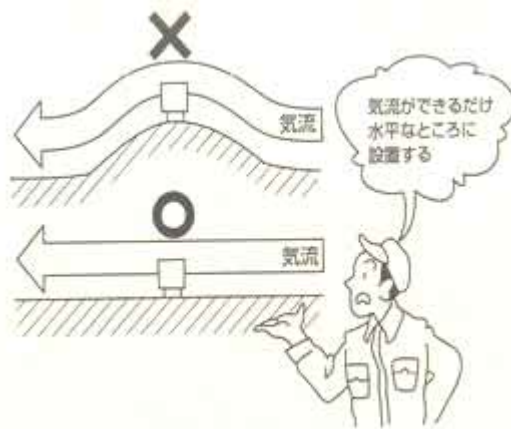
## ②雨量観測所の配置

雨量観測所は、河川計画及び管理上、適正な観測網となるように配置しています。配置の目安としては、概ね50km<sup>2</sup>に1箇所を目安に配置が行われています。



# ③雨量観測所の設置

雨量観測所の設置にあたっては、地形や気流などを考慮しています。



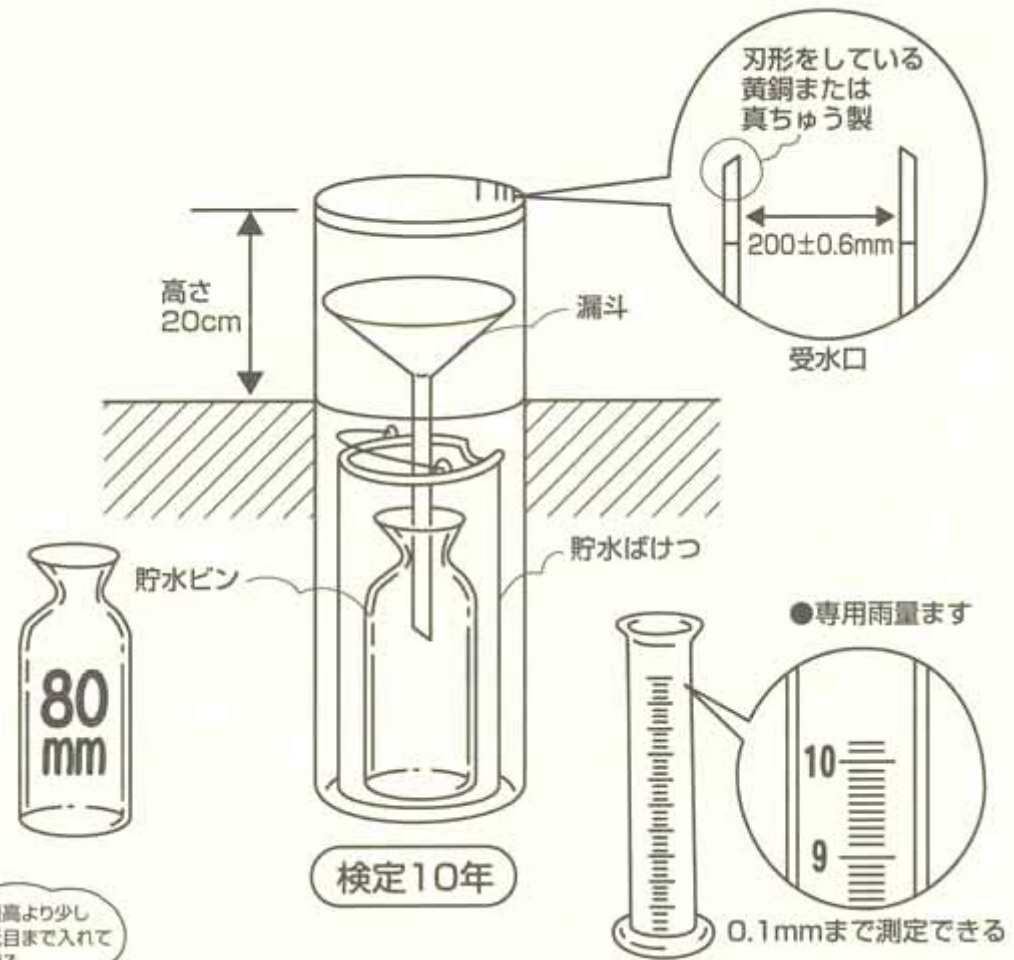
## ④雨量観測方法

雨量観測方法には、大きく分けて普通観測、自記観測があります。また、自記観測されたデータをテレメータにより配信することで、常時、雨量状況を把握することが出来ます。

普通観測.....貯水ビンに雨水を貯め、雨量ますを用いて目視により日雨量を計測する方法

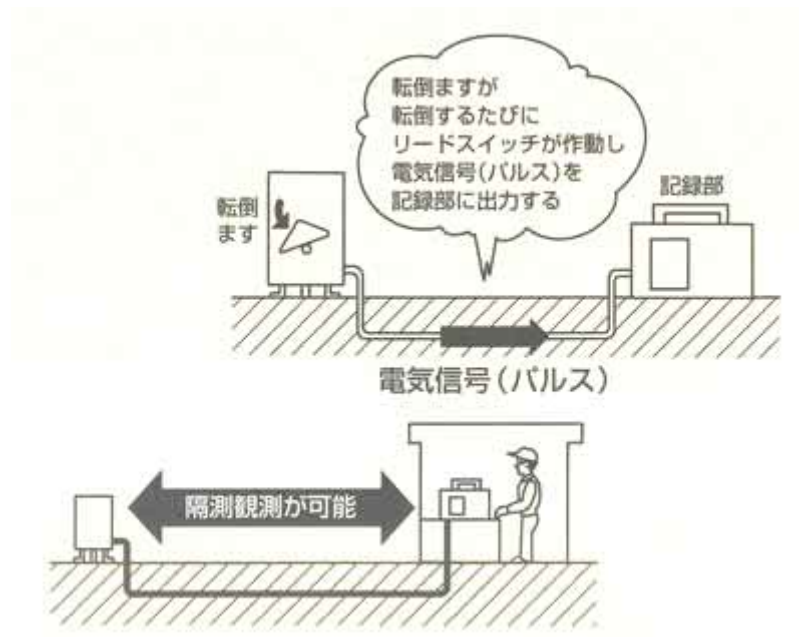
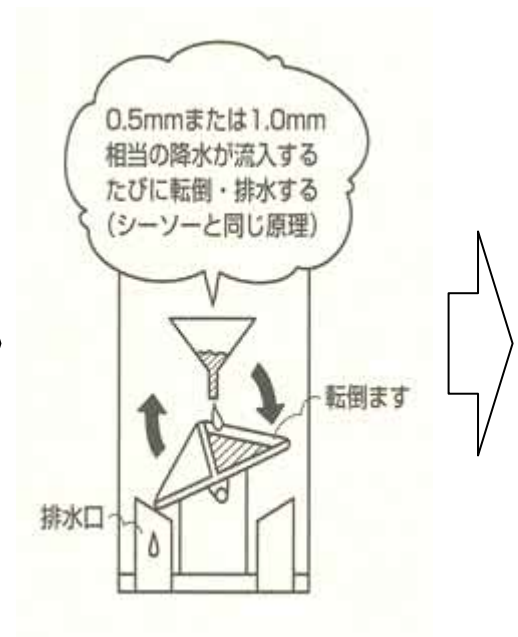
自記観測.....転倒ます型雨量計を用いて計測された雨量を自記より記録する方法

# ⑤ 普通観測





# ⑥ 自記観測



※一転倒が0.5mmと1.0mm用がある。

# ⑦雨量観測所の点検

雨量観測所の精度を保つため、毎月1回定期的に点検しています。また、年一回、出水期前には、機器内部の精密点検を行っています。

## ▼普通点検

目視により機器が正常に作動しているか、周りの状況をチェックする。

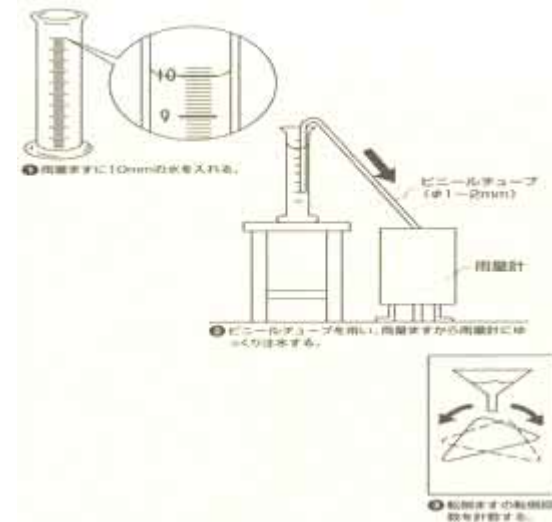


月1回以上実施する

## ▼自記雨量計総合点検



## ▼現場テスト



# ⑧紀の川流域の雨量観測所の状況

流域図



はちまんだいら

# 八幡平雨量観測所設置状況



←全景



←自記雨量計(転倒ます型雨量計)



自記雨量計の記録部

よなか

# 夜中雨量観測所設置状況



← 全景



自記雨量計(転倒ます型雨量計)



自記雨量計の記録部